

カラオケCDダブルラジカセ【WUTA(ウータ)】

ケーシーアール

商品型番：**KCR-1027**

WUTA ウータ



このたびは「カラオケCDダブルラジカセ【WUTA(ウータ)】 | KCR-1027」をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでもご覧になれるところに必ず保管してください。

本製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

目次

- 目次 2
- セット内容 2
- 安全上のご注意 3・4
- 使用上のご注意 5
- 各部の名称 6~8
- ご使用前の準備
 - 設置にする 9
 - 電源について 9
- 共通の操作
 - ボタンの押し方 10
 - 電源の入切 10
 - 音量を調整する 10
 - ヘッドホン/イヤホンから音声を出力する 10
 - 外部音声出力 11
 - スピーカーバランス 11
- CDプレーヤー
 - オーディオCDの再生 12
 - CD-R/RWの再生 13
 - いろいろな操作 13・14
 - リピート再生(1曲リピート) 14
 - リピート再生(全曲リピート) 15
 - ランダム再生 15
 - プログラム再生 15・16
- カセットテープ
 - カセットテープを聴く 17
 - 再生速度を調整する 18
 - カセットテープをダビングする 18
 - カセットテープを高速ダビングする 18
- AM / FM ラジオ
 - ラジオを聴く 19
 - 自動スキャン登録 19
 - 放送局の登録 20
- 外部音声入力
 - 外部機器の音声を聴く 21
- マイクを使う
 - マイクを接続する 22
 - CDでカラオケをする 23
 - カセットテープでカラオケをする 23
 - 外部音声でカラオケをする 24
- カセットテープに録音する
 - CDをカセットテープに録音する 25
 - AM/FMラジオをカセットテープに録音する 26
 - 外部機器の音声をカセットテープに録音する 26・27
 - カラオケの歌と伴奏をカセットテープに録音する 27
- お手入れについて
 - 本体のお手入れ 28
 - CDプレーヤーのお手入れ 28
 - カセットデッキのお手入れ 28
- 部品・付属品について 28
- 故障かな?と思ったら 29・30
- 主な仕様 31
- 保証とアフターサービス 32


セット内容


※箱を開けたら以下の同梱品が入っているか確認してください。

- 本体
- ACアダプタ
- マイク×2
- 取扱説明書(本誌/保証書付)




安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。
※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために「警告」と「注意」の2つに区分しています。


 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。


-  の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
-  の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
-  の記号は「しなければならない行為(強制事項)」を示します。

警告

-  **交流100V以外で使用しない**
表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 国外では使用しない**
本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ACアダプタ、コードを傷つけない**
無理な使いかたをするとACアダプタ、コードが破損しますので次のようなことはしないでください。
○ACアダプタ、コードの上に重いものを乗せる。 ○途中でつぎ足したりなどの加工する。
○無理に折り曲げる。 ○傷をつける。 ○ねじったり、引っ張ったりする。
○熱器具に近づける。 ○電源コードは束ねたまま使用する。
※電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店、または総発売元に修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタを抜き差ししない** 火災・感電やけがの原因となります。

-  **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**
差し込み部分は定期的に点検する
定期的に電源プラグと器具用プラグに付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。
ほこりにより、ショート・絶縁不良・発火・発熱が起こり火災の原因となります。

-  **雷が近づいたらACアダプタをコンセントから抜く**
落雷の恐れがあります。

-  **分解・修理・改造はしない**
火災・故障の原因となります。また保証期間内であっても保証の対象外となります。
- 内部に異物を入れない** 火災・故障や感電の原因となります。
- 本体背面の通風孔をふさがない**
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。
- 異常・故障・破損時には、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く**
お買い上げの販売店が発売元に修理を依頼してください。

安全上のご注意

警告

- ぐらついた台や傾いた所に置かない 落下しケガ・故障の原因になります。
- 温度の異常に高い場所で使用しない
- 調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電・故障の原因になることがあります。
- 駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない 樹脂部品の変形の原因になります。
- 濡らさない 本機を濡らしたり、水につけないでください。ショート・感電の原因となります。

- 電池は正しいものを使用する
電池を交換する際は、同一または同タイプのものを使用する。
正しく交換されていないと爆発の危険があり、火災・感電やけがの原因となります。

注意

- ACアダプタは付属のもの以外を使用しない
- 付属のACアダプタを他の機器に使用しない 火災、感電の原因となります。
- ヘッドホンの音量を上げ過ぎない 聴力障害などの原因になります。
- CDのピックアップレンズをのぞきこまない 視力障害などの原因になります。

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く 火災の原因となります。
 - 乾電池を取り扱うときは、次の事を守る
 - 指定以外の乾電池は使用しない。 ●極性表示のプラスとマイナスを間違えて挿入しない。
 - 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は本体に入れておかない。
 - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
 - 長時間使用しないときは、本体から乾電池はすべて取り出す。
 - 本体からACアダプタを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない。
 - 水に濡らしたり、濡れた手で触らない。
 - 直射日光の当たる場所や火の近くなど、熱源の近くに置かない。
- ※発熱・液漏れ・破裂などにより、やけど・けがの原因になる事があります。
もし液に触れたときは、水でよく洗い流し、医師に相談してください。液が本体についた場合は、液に直接触れない様に拭き取ってください。

- 電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。
- 持ち運ぶときは、FMアンテナをたたみ、ACアダプタを本体から外す

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの災害、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らない事により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

使用上のご注意

本機の取扱いについて

極端な湿度、日差しの強い場所、窓を閉めきった自動車内には放置しないでください。

結露について

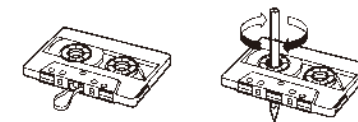
本機は冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に結露が生じ、正しく動作できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

CDについて

- 本機のCDプレーヤーは音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。
- コピーコントロールCDは再生出来ません。
- CD-R、CD-RWに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。
- 本機にCDをセットする時は、印字面が上方からに見えるようにセットしてください。
- 本機を持ち運びするときはディスクを必ず取り出してください。入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。
- ハート形、八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。
- 再生面には手をふれないでください。
- 必ず専用ケースに入れて保管してください。

カセットテープについて

- テープがたるんでいると絡まり、テープにダメージを与える場合があります。右図のように鉛筆などで直してからご使用ください。
- 古いテープは絡まりやすく、テープにダメージを与えますので使用しないでください。
- テープの巻きつきがきついと感じるときは、テープの窓の線が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送り、巻戻ししてください。
- 温度や湿度が高い所や、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。
- 片面30分以上の長時間テープはご使用ならないでください。長時間テープは薄く伸びやすいため、テープが巻き込まれる場合があります。
- TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム／ハイポジション、メタルテープは使用できません。

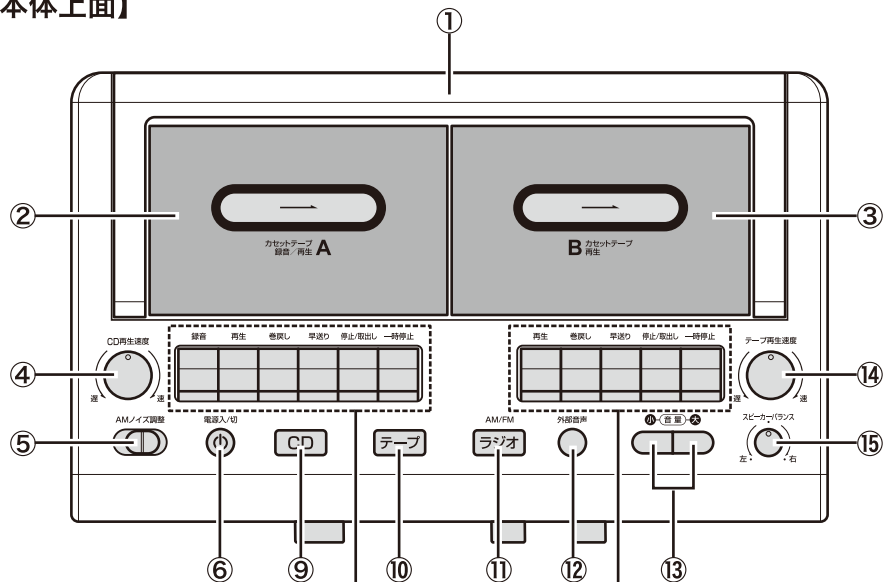


<誤消去防止>

ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスを防ぎます。再び録音する場合は穴をセロハンテープなどでふさぎます。

各部の名称

【本体上面】



⑦カセットテープデッキA操作部

録音 再生 巻戻し 早送り 停止/取出し 一時停止

⑦-① ⑦-② ⑦-③ ⑦-④ ⑦-⑤ ⑦-⑥

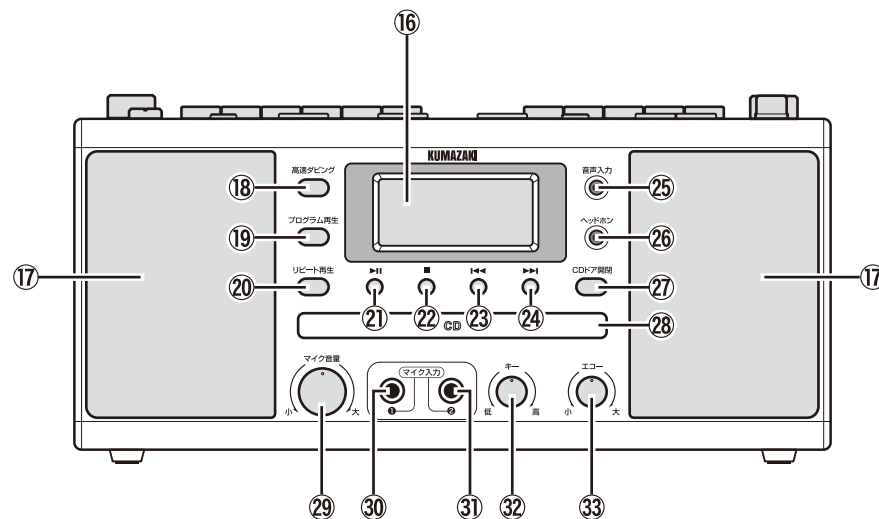
⑧カセットテープデッキB操作部

再生 巻戻し 早送り 停止/取出し 一時停止

⑧-① ⑧-② ⑧-③ ⑧-④ ⑧-⑤

- ①ハンドル ②カセットテープデッキA ③カセットテープデッキB
- ④CD再生速度調整ツマミ ⑤AMノイズ調整スイッチ ⑥電源ボタン
- ⑦-①録音ボタン ⑦-②再生ボタン ⑦-③巻戻しボタン ⑦-④早送りボタン
- ⑦-⑤停止/取出しボタン ⑦-⑥一時停止ボタン
- ⑧-①再生ボタン ⑧-②巻戻しボタン ⑧-③早送りボタン
- ⑧-④停止/取出しボタン ⑧-⑤一時停止ボタン
- ⑨CD選択ボタン ⑩カセットテープ選択ボタン ⑪ラジオ選択ボタン
- ⑫外部音声選択ボタン ⑬音量調整ボタン ⑭テープ再生速度調整ツマミ
- ⑮スピーカーバランスツマミ

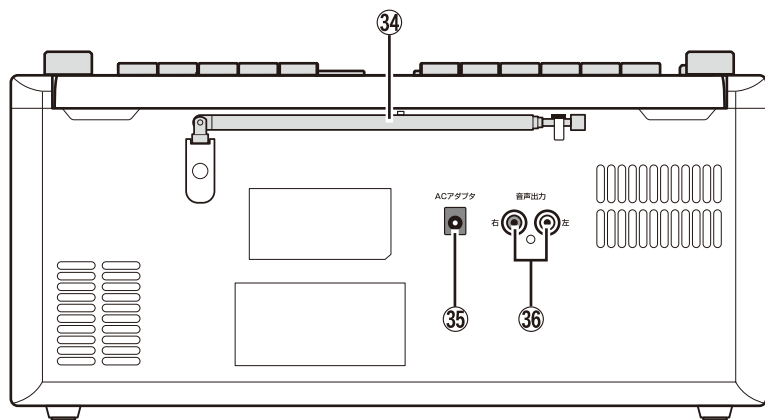
【本体前面】



- ⑬液晶表示部 ⑭スピーカー ⑮高速ダビングボタン
- ⑯【CD】プログラム再生ボタン 【ラジオ】放送局登録ボタン
- ⑰リピート再生ボタン
- ⑱【CD】再生/一時停止ボタン 【ラジオ】放送局自動登録ボタン
- ⑲停止ボタン ⑳【CD】前スキップボタン 【ラジオ】選局戻るボタン
- ㉑【CD】次スキップボタン 【ラジオ】選局進むボタン ㉒音声入力端子
- ㉓ヘッドホン出力端子 ㉔CDドア開閉ボタン ㉕CDトレイ
- ㉖マイク音量調整ツマミ ㉗マイク入力端子1 ㉘マイク入力端子2
- ㉙キーコントロールツマミ ㉚エコー調整ツマミ

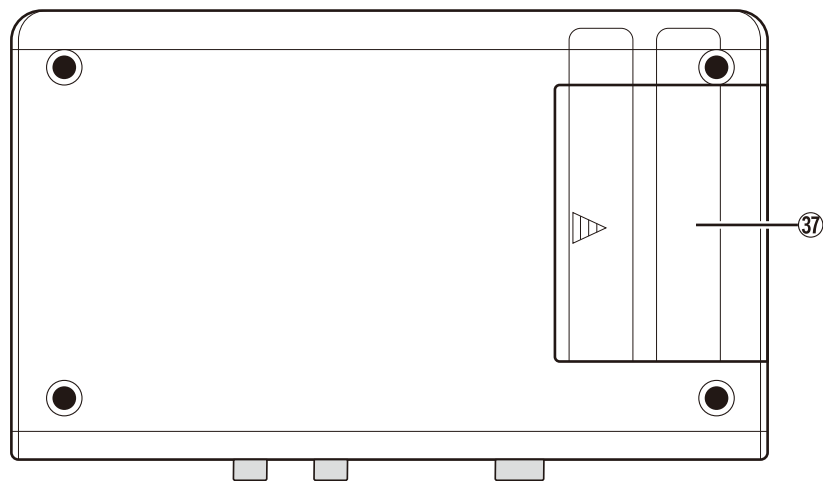
各部の名称

【本体背面】



③④ FMアンテナ ③⑤ ACアダプタ入力端子 ③⑥ 音声出力端子

【本体底面】



③⑦ 乾電池ボックス

ご使用前の準備

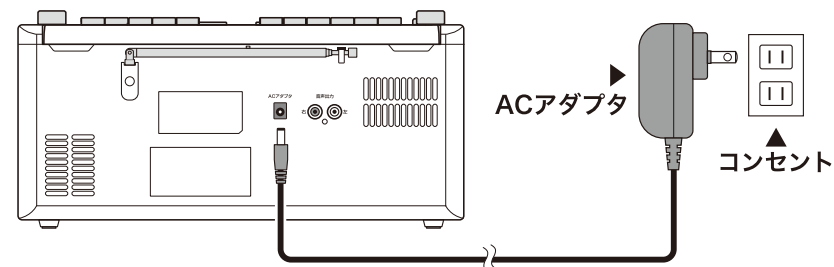
■設置する

本体を箱から取出し、すべての緩衝材を外し、硬く平らな場所に置きます。
 △ 本体背面の通気孔をふさがらない様、壁面から十分に距離を撮ってください。

■電源について

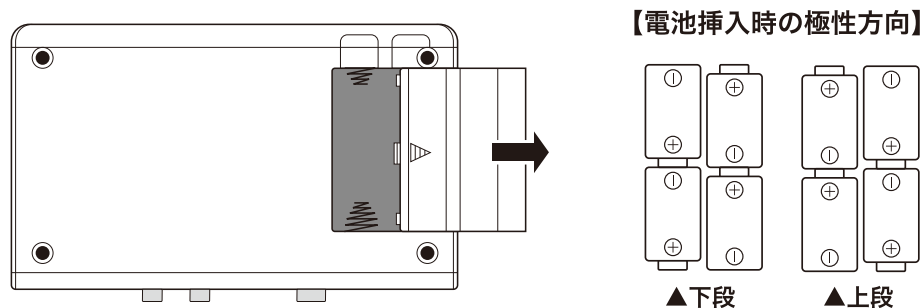
家庭用電源でご使用の時

- 1 ACアダプタの本体側用プラグを本体背面の③⑤ACアダプタ入力端子に差し込みます。
- 2 ACアダプタの金属プラグをコンセントに差し込みます。



乾電池でご使用の時

- 1 ③⑦乾電池ボックスのフタの矢印部分を押し、スライドさせて開けます。
- 2 単1形乾電池8本を極性(プラスとマイナス)を間違えない様に入れ、③⑦乾電池ボックスのフタをはめ込み閉じます。



- △ 一週間以上使用しない場合はすべて取り外してください。液もれの原因となります。
- △ 本体にCDを入れたまま電池交換は絶対にしないでください。故障の原因となります。

共通の操作

■ボタンの押し方

- 押す…押してすぐ離す
- 長押し…2秒以上押し続ける

■電源の入切

- 1 電源を入れる：⑥電源ボタンを押します。⑯液晶表示部が青く点灯します。
- 2 電源を切る：⑥電源ボタンを押します。⑯液晶表示部が消灯します。

■音量を調整する

⑬音量調整ボタンを押して音量を調整します。

【音量調整時表示例】

- 1 音量を下げる：左側のボタンを1回押すごとに音量が1段階下がります



※レベル15を選んだ場合

- 2 音量を上げる：右側のボタンを1回押すごとに音量が1段階上がります。

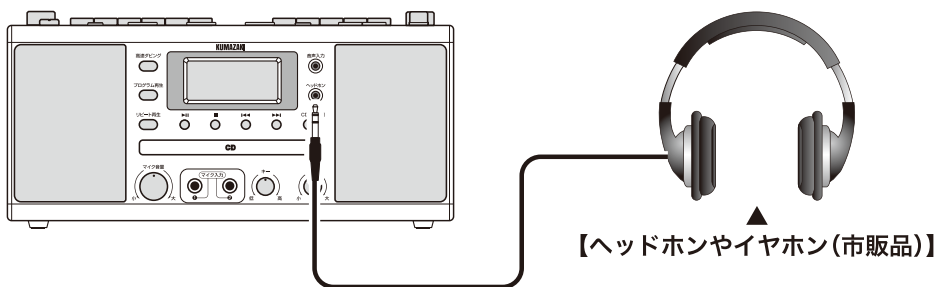
※00～30の範囲で調整ができます。

⑯液晶表示部には“U00”～“U30”と表示されます。

■ヘッドホン／イヤホンから音声を出力する

⑳ヘッドホン出力端子にヘッドホンやイヤホンを接続し、音声を出力できます。

※本機の出端子は、Ø3.5mmステレオミニジャックです。



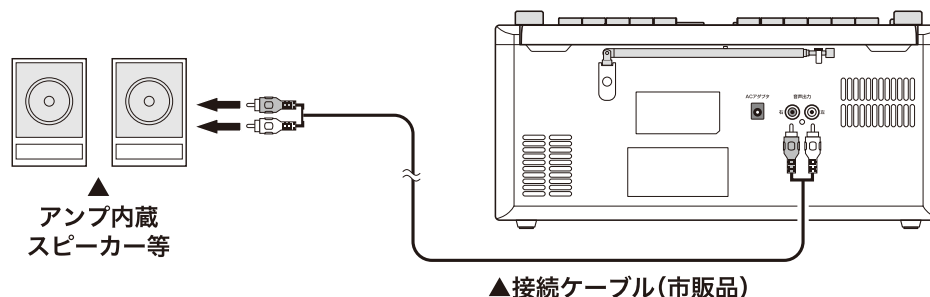
【ヘッドホンやイヤホン(市販品)】



※ヘッドホン／イヤホンを接続すると、⑰スピーカーから音は出ません。
※ヘッドホン／イヤホン使用時は音量を上げ過ぎないでください。
聴力障害などの原因になります。

■外部音声出力

本体背面にある⑳音声出力端子にアンプやアンプ内蔵スピーカー等を接続し、音声を出力することができます。



▲接続ケーブル(市販品)



注意

※本機側端子の形式はRCAピン端子です。
※接続ケーブルは付属しておりません。別途お買い求めください。
※接続した機器と本機内蔵⑰スピーカーの選択は出来ません。接続した機器からのみ音声をお聴きになりたい場合は、本機の音量を最小にしてください。
※音量の調整は接続した機器側で行ってください。

■スピーカーバランス

左右の⑰スピーカーの音量をお好みに調整することができます。

- 1 ⑰スピーカーバランスツマミを左に回すと、本体に向かって左側のスピーカーの音が大きくなります。
- 2 ⑰スピーカーバランスツマミを右に回すと、本体に向かって右側のスピーカーの音が大きくなります。
- 3 ⑰スピーカーバランスツマミを左右どちらかに回し切ると、片側のスピーカーからしか出力されません。

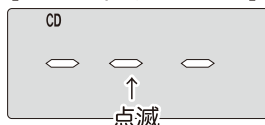
■オーディオCDの再生

1 機能をCDに切り替える

⑨**CD選択ボタン**を押し、CDモードに合わせると、⑯**液晶表示部**に“CD”と表示され、“---”が点滅した後に“**00d**”と表示されます。

※CDを挿入したままにしておいた場合、自動的にCDの読み込みが始まります。

【CD選択／読み込み時】



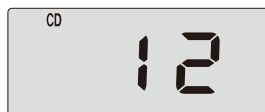
【CDが入っていない時／正しく読み込めない時】



【CDドアが開いている時】



【総収録曲数】



※全12曲収録されている場合

【再生中】



※1曲目を再生している場合

2 CDをセットする

⑰**CDドア開閉ボタン**を押すと⑳**CDトレイ**が出てきます。その時⑯**液晶表示部**には“**0P**”と表示されます。

オーディオCDを⑳**CDトレイ**にセットし、⑰**CDドア開閉ボタン**を押すと、⑯**液晶表示部**に一瞬“**CL5**”と表示され、⑳**CDトレイ**が閉じ、自動的に読み込みが始まります。読み込み中は“---”が点滅します。

△正しく読み込めない場合、⑯**液晶表示部**に“**00d**”と表示されます。

3 再生する

読み込みが終了すると、⑯**液晶表示部**に総収録曲数が表示された後、左上に“▶”が表示され、一曲目から再生が始まります。

※再生中は⑯**液晶表示部**に再生されている曲番号が表示されます。

※一曲目から収録順に再生され、最終曲が終了すると自動的に停止します。

4 再生を停止する

㉒**停止ボタン**を押すと再生を停止し、⑯**液晶表示部**に総収録曲数が表示されます。

※もう一度再生する場合は、㉑**再生／一時停止ボタン**を押します。

■CD-R/RWの再生

パソコンのCD書き込みソフトを使って、MP3形式で書き込まれたCD-R/RWを再生することが出来ます。

注意 ストレージとしてMP3ファイルを保存したCD-R/RWは再生出来ませんのでご注意ください。その様なディスクを挿入すると、読み込んだ後に⑯**液晶表示部**に“**00F**”と表示されます。

1 準備をする

「オーディオCDの再生」の項に準じてMP3形式が書き込まれたCD-R/RWを準備します。

2 再生する

読み込みが終了すると、⑯**液晶表示部**に“**F01**”、続いて総収録曲数が表示された後、上部に“▶”と“**MP3**”が表示され、一曲目から再生が始まります。

※“**F01**”の“**F**”はフォルダを意味します。

本機では1枚のディスクをひとつのフォルダとして認識します。

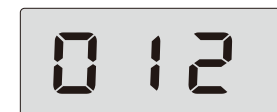
3 再生を停止する

㉒**停止ボタン**を押すと再生を停止し、⑯**液晶表示部**に総収録曲数が表示されます。

【読み込み終了後の表示】



【総収録曲数】



※全12曲収録されている場合

【再生中】



※1曲目を再生している場合

■いろいろな操作

●聴きたい曲を選ぶ

- ・停止中に㉔**次スキップボタン**を押すと、⑯**液晶表示部**に一曲目が表示されます。もう一度㉔**次スキップボタン**を押すと次の曲に進みます。
- ・停止中に㉓**前スキップボタン**を押すと、⑯**液晶表示部**に最後曲が表示されます。もう一度㉓**前スキップボタン**を押すと前の曲に戻ります。
- ・再生中または一時停止中に㉔**次スキップボタン**を押すたびに、次の曲に進みます。
- ・再生中に㉓**前スキップボタン**を押すと、曲の頭に戻ります。すぐにもう一度㉓**前スキップボタン**を押すと前の曲の頭に戻ります。
- ・一時停止中に㉓**前スキップボタン**を押すと前の曲の頭に戻ります。

●再生を一時停止する

- 再生中に⑳再生／一時停止ボタンを押すと、再生が一時停止します。もう一度㉑再生／一時停止ボタンを押すと、続きから再生します。

※一時停止中は⑯液晶表示部左上に“II”が点灯表示します。

●早送り／早戻しをする

- 再生中または一時停止中に㉒次スキップボタンを押し続けると早送りになります。希望のところで指を離すと再生を続けます。
- 再生中または一時停止中に㉓前スキップボタンを押し続けると早戻しになります。希望のところで指を離すと再生を続けます。

●再生速度を調整する

- 再生中に④CD再生速度調整ツマミを左に回すと、5段階で再生速度が遅くなります。

⑯液晶表示部には-01→-02→-03→-04→-05と表示されます。

- 再生中に④CD再生速度調整ツマミを右に回すと、5段階で再生速度が速くなります。

⑯液晶表示部には01→02→03→04→05と、表示されます。

注意 再生速度調整機能は、ラジオ受信時、外部音声機器再生時にはご使用出来ません。

■リピート再生（1曲リピート）

※再生中の曲を繰り返し再生します。

1 1曲リピートモードにする

再生中または一時停止中に㉑リピート再生ボタンを押すと、⑯液晶表示部の下部に“REP 1”が点灯表示され、再生中の曲を繰り返し再生します。

2 設定を解除する

㉒停止ボタンを押すと1曲リピートが解除されます。

【再生時表示例】



※3曲目を繰り返し再生する場合

■リピート再生（全曲リピート）

※CD収録曲を曲順通りに繰り返し再生します。

1 全曲リピートモードにする

再生中または一時停止中に、⑯液晶表示部の下部に“REP ALL”と表示されるまで㉑リピート再生ボタンを2回押すと、全収録曲を繰り返し再生します。

【再生時表示例】



2 設定を解除する

㉒停止ボタンを押すと1曲リピートが解除されます。

■ランダム再生

※CD収録曲を順不同で再生します。

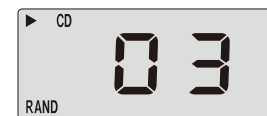
1 ランダムモードにする

再生中または一時停止中に、⑯液晶表示部の左下部に“RAND”と表示されるまで㉑リピート再生ボタンを3回押すと、全収録曲を順不同で再生します。

【設定時表示(例)】



▼ 次の曲



2 設定を解除する

⑯停止ボタンを押すとランダム再生が解除されます。

■プログラム再生

※再生するCDの収録曲から、お好みの順番に20曲(MP3は100曲)登録出来ます。

1 プログラムモードにする

停止中に⑲プログラム再生ボタンを押すと、⑯液晶表示部に“P01”と表示され、下部に“PROG”が点滅します。

【設定時表示】



【曲選択時表示例】



※3曲目を選んだ場合

2 曲を選ぶ

㉓前スキップボタンまたは㉒次スキップボタンを押すと、表示が曲番号に変わるので、登録したい曲を選びます。

CDプレーヤー

■プログラム再生 (続き)

3 曲を決定する

⑩プログラム再生ボタンを押します。

⑯液晶表示部に“P02”と表示されます。

※引き続き登録する場合は、手順1~3を繰り返します。

※20曲(MP3は100曲)登録されると、⑯液晶表示部に“FUL”と表示され、“PROG”が点灯します。

【設定時表示】



※3曲目を選んだ場合

【すべて登録された場合】



【再生時表示例】



4 登録した曲を再生をする

⑫再生/一時停止ボタンを押すと、登録をした最初の曲から再生が始まります。

⑯液晶表示部に“▶”が表示され、“PROG”が点滅から点灯に変わります。

※プログラム登録した曲順で再生された後、停止します。

●登録した曲を選ぶ

⑬前スキップボタンまたは⑭次スキップボタンを押します。

●登録した内容を消去する

停止中に⑮停止ボタンを押すと、プログラム登録内容が消去され“PROG”が消灯します。

ポイント

「1曲リピート」「全曲リピート」は、プログラム再生時も機能します。

△ご注意：ランダム再生時は機能しません。

注意 本機にCDを入れたまま、持ち運び、移動、お手入れ、本機をひっくり返しての電池交換などは絶対にしないでください。故障の原因となります。

カセットテープ

注意 本機はノーマルテープのみ対応となります。ハイポジション、メタル等のテープは使用出来ません。また片面30分以上のテープは使用しないでください。

■カセットテープを聴く

1 機能をカセットテープに切り替える

⑩カセットテープ選択ボタンを押し、テープモードに合わせて、⑯液晶表示部に“TAPE”と表示されます。

【カセットテープ選択時】



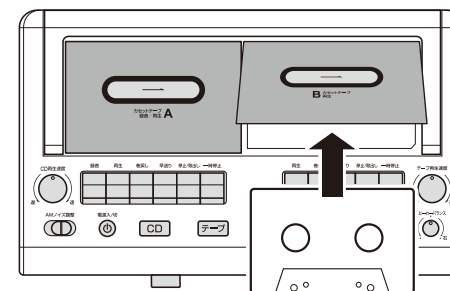
2 カセットテープをセットする

⑧カセットテープデッキB操作部の

⑧-④停止/取出しボタンを押し、③カセットテープデッキBのドアを開けます。

お手持ちの音声が入録されているカセットテープを挿入し、ドアを閉めます。

※カセットテープのテープ露出面を手前にして挿入してください。



露出面を手前に

3 再生する

⑧-①再生ボタンを押して再生します。

※テープを前に戻したい場合は⑧-②巻戻しボタンを押します。

※テープを先に進めたい場合は⑧-③早送りボタンを押します。

※再生を途中で止めたい場合は⑧-⑤一時停止ボタンを押します。

4 再生を停止する

⑧-④停止/取出しボタンを押して再生を止めます。

※テープを最後まで再生すると自動的に停止し、⑧-①再生ボタンが上がります。

5 テープを取り出す

⑧-④停止/取出しボタンを押し、③カセットテープデッキBのドアを開け、テープを取り出します。

ポイント

②カセットテープデッキAでも同様の操作が行えます。

●カセットテープ

■再生速度を調整する

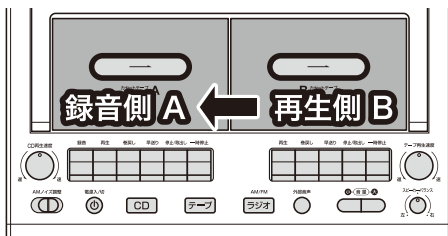
- ⑭テープ再生速度調整ツマミで再生速度を変える事ができます。
左に回すと「遅く」、右に回すと「速く」なります。(90~110%の範囲で変化)
※調整した速度を録音に反映する事はできません。

■カセットテープをダビングする

1 カセットテープをセットする

ダビングしたい音源が入ったカセットテープを⑧カセットテープデッキBに、録音される側のカセットテープを②カセットテープデッキAに、それぞれ挿入します。

△録音前に必ずテープの残量をお確かめください。



2 ダビングする

⑦カセットテープデッキA操作部の⑦-①録音ボタンと⑧カセットテープデッキB操作部の⑧-①再生ボタンを同時に押します。

※⑦-①録音ボタンを押すと⑦-②再生ボタンも同時に下がります。

3 ダビングを停止する

⑦-⑥停止/取出しボタンを押すと録音が終了します。

■カセットテープを高速ダビングする

△高速ダビング機能は、カセットテープのダビング時のみ使用できます。

前項「■カセットテープをダビングする」の手順に従いダビングを開始します。

1 高速ダビングする

⑯高速ダビングボタンを押すと高速ダビングが始まります。この時⑯液晶表示部に“HI SPEED REC”と表示されます。



2 ダビングを停止する

⑦-⑥停止/取出しボタンを押すと録音が終了します。

●AM/FMラジオ

■ラジオを聴く

1 機能をラジオに切り替える

⑪ラジオ選択ボタンを押します。

【AM受信時画面表示例】



2 AM、FMを切り替える

⑪ラジオ選択ボタンを押すたびに、AMとFMが切り替わりますので希望の受信バンドを選びます。

※AMの場合は⑯液晶表示部の右上に“AM”、右横に“KHz”と表示されます。

※FMの場合は⑯液晶表示部の右上に“FM”、右横に“MHz”と表示されます。

【FM受信時画面表示例】



3 放送局を選ぶ

⑲選局戻るボタンまたは⑳選局進むボタンを押して、放送局を選びます。一回押すたびに、AMの場合は9KHz、FMの場合は0.1MHzずつ数字が動きます。

自動選局：⑲選局戻るボタンまたは⑳選局進むボタンを長押しして指を離すと、最初に受信した周波数で自動的に停止します。

△受信環境によっては、受信ノイズを放送局と誤認識する事があります。正しく受信しない場合は、再度上記の手順を行ってください。

●FMステレオ放送の受信

ステレオ放送を受信すると、⑯液晶表示部右下に“ST”と表示されます。受信状態が悪化すると自動的にモノラルに切り替わり、表示は消えます。

■自動スキャン登録

全受信可能周波数帯域をスキャンし、受信した局を自動で登録します。

㉑放送局自動登録ボタンを押すと自動スキャンが始まり、周波数の数字が進みます。放送局が検出されると順次自動的に登録されます。

※途中で止めたい時は㉒停止ボタンを押します。

登録された放送局を選ぶには、㉓放送局登録ボタンを押し、㉑選局戻るボタンまたは㉒選局進むボタンを押して選んでください。

△受信環境によっては、受信ノイズを放送局と誤認識し、登録されてしまう事があります。

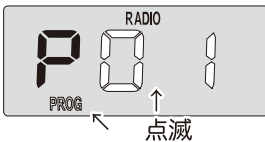
■放送局の登録

※お好みの放送局をAMは10局、FMは20局まで登録出来ます。

1 登録したい放送局を選ぶ

⑳選局戻るボタンまたは㉑選局進むボタンを押して、放送局を選びます。

【登録時の表示例】



2 登録する

⑲放送局登録ボタンを長押しします。⑯液晶表示部に“P 0 1”の数字と“PROG”が点滅表示されたら、⑲放送局登録ボタンを押します。“PROG”が点灯に変わり、登録された放送局の周波数が表示されます。

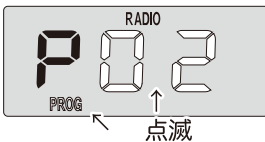
【登録後の表示例】



3 2局目以降を登録する

放送局を選び、⑲放送局登録ボタンを長押しすると、“P 0 1”の数字と“PROG”が点滅表示されます。表示中に㉑選局進むボタンを押すと、数字が“P 0 2”と表示されますので、⑲放送局登録ボタンを押して登録します。

【2局目登録時の表示例】



※3局目以降を登録する場合は、上記手順を繰り返します。

4 登録した放送局を選ぶ

受信中に⑲放送局登録ボタンを押すと現在選択されている局が表示されるので、㉑選局戻るボタンまたは㉒選局進むボタンを押して、登録された放送局を選びます。約3秒後に選んだ放送局の周波数が⑯液晶表示部に表示されます。

【登録局選択時の表示例】



△登録した放送局は消去出来ません。登録局を変更する場合は、上記手順を再度行い、上書きしてください。

ポイント

●より良く受信するために

FMの場合：FMアンテナを最も受信状態の良い方向に向けてください。
AMの場合：乾電池を使用し、本体を最も受信状態の良い方向に向けて設置してください。

■外部機器の音声を聴く

*本機では、出力端子のついたスマートフォン、携帯音楽プレーヤーなどの外部機器の音声を再生する事ができます。

1 外部機器を接続する

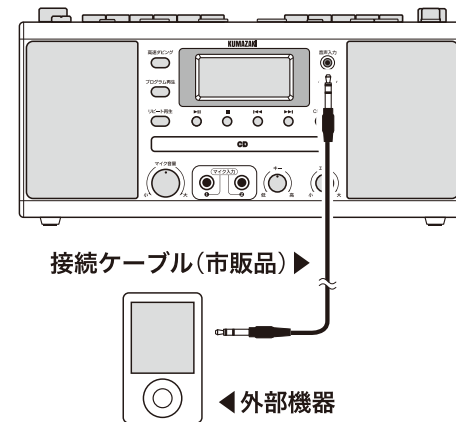
接続ケーブルで㉓音声入力端子と外部機器の出力端子を接続します。

2 外部音声に切り替える

⑫外部音声選択ボタンを押すと⑯液晶表示部に“AUX”と“FMH”が表示されます。

3 外部機器を再生する

外部機器を再生すると、本機のスピーカーから音声が出力されます。再生を停止する場合は、外部機器を停止します。



※本機側端子はφ3.5mmステレオミニジャックです。
注意 ※接続ケーブルは付属しておりません。別途お買い求めください。

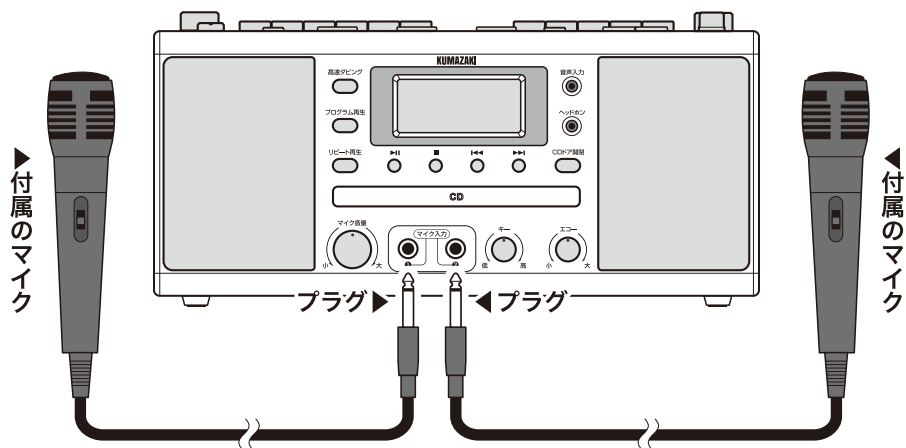
マイクを使う

■マイクを接続する



注意

接続する前に必ず、本機の⑳マイク音量調整ツマミの音量が最小に、付属のマイクの入切スイッチが“OFF”になっている事を確認してください。大きな音量のまま接続すると、ハウリング(キーンという音)が起こる事があります。



付属のマイクのプラグを⑳マイク入力端子1と㉑マイク入力端子2に挿入します。
※マイクを1本しか使用しない場合はどちらかの端子に挿入します。
接続したら付属のマイクの入切スイッチを“ON”にします。

【マイクを接続した状態でのみ使える機能】

●マイク音量

⑳マイク音量調整ツマミを回してマイクの音量を調整します。
左に回し切った状態で音量はゼロ、右の回すと音量が大きくなります。

●キーコントロール

㉒キーコントロールツマミを回して再生中の音の高さを調整します。
左に回すと低く(b)、右の回すと高く(#)なります。 ※±10%程度

●エコー

㉓エコー調整ツマミを回してマイク音声の残響を調整します。
左に回し切った状態で残響はゼロ、右の回すと残響が深くなります。

*本機では、CD、カセットテープ、外部機器の音源でカラオケをする事ができます。

■CDでカラオケをする

1 CDをセットする

P12「■オーディオCDの再生」の手順に従い、CDをセットします。

2 マイクを接続する

P22「●マイクを使う」の手順に従い、マイクを接続し、マイクの電源をONにします。

3 CDを再生する

P12「■オーディオCDの再生」の手順に従い、CDを再生します。

4 伴奏に合わせて歌う

CDが再生され、伴奏が流れてきたらマイクに向かい歌います。
※エコー、キー等はお好みに合わせ適宜調整してください。



注意

マイクの電源が入っていても、CDが再生しなければ、マイクの音声は出力されません。またCD再生中にマイクを抜き差しすると再生音が一瞬途切れます。

■カセットテープでカラオケをする

1 カセットテープをセットする

P17「■カセットテープを聴く」の手順に従い、カセットテープをセットします。

2 マイクを接続する

P22「●マイクを使う」の手順に従い、マイクを接続し、マイクの電源をONにします。

3 カセットテープを再生する

P17「■カセットテープを聴く」の手順に従い、カセットテープを再生します。

4 伴奏に合わせて歌う

カセットテープが再生され、伴奏が流れてきたらマイクに向かい歌います。
※エコー、キー等はお好みに合わせ適宜調整してください。

●マイクを使う

■外部音声でカラオケをする

1 外部機器を接続する

P21「■外部機器の音声を聴く」の手順に従い、外部機器を接続します。

2 マイクを接続する

P22「●マイクを使う」の手順に従い、マイクを接続し、マイクの電源をONにします。

3 外部機器を再生する

P21「■外部機器の音声を聴く」の手順に従い、外部機器を再生します。

4 伴奏に合わせて歌う

外部機器が再生され、伴奏が流れてきたらマイクに向かい歌います。

※エコー、キー等はお好みに合わせ適宜調整してください。

ポイント

カセットテープ、外部音声を選択し、それぞれを再生させずにマイクで話すと、拡声器としてもお使いいただけます。

●カセットテープに録音する



注意

※本機の録音音量は低めに設定されています。録音の際は再生時の音量をできる限り大きくしてください。

※録音の際は、⑭テープ再生速度調整ツマミを真ん中に合わせてください。速度を変えると、それを反映して録音されてしまいます。

■CDをカセットテープに録音する

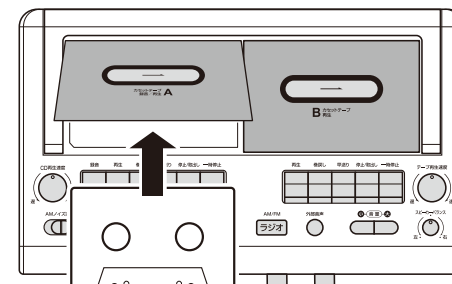
1 カセットテープをセットする

⑦カセットテープデッキA操作部の

⑦-⑤停止/取出しボタンを押し、
②カセットテープデッキAのドアを開けます。

録音するカセットテープを挿入し、
ドアを閉めます。

※カセットテープのテープ露出面
を手前にして挿入してください。



露出面を手前に

2 CDをセットする

P12「■オーディオCDの再生」の手順に従い、CDをセットします。

CDを読み込むと自動再生しますので、⑳停止ボタンを押して停止します。

3 録音を開始する

⑦-①録音ボタンを押して、録音を開始します。

※録音前に必ずテープの残量をお確かめ下さい。

※⑦-①録音ボタンを押すと、⑦-②再生ボタンも一緒に下がります。

4 CDを再生する

P12「■オーディオCDの再生」の手順に従い、CDを再生します。

5 録音を終了する

⑦-⑤停止/取出しボタンを押して、録音を終了します。

※テープ片面が巻き終わると録音が終了され、⑦-①録音ボタン/⑦-②再生ボタンが自動的に上がります。

6 録音内容を確認する

⑦-③巻戻しボタンを押して、カセットテープの先頭まで巻き戻します。

巻き戻ったら⑦-②再生ボタンを押して正しく録音できているかを確認します。

●カセットテープに録音する

■AM/FMラジオをカセットテープに録音する

1 前項「■CDをカセットテープに録音する」の手順に従い、②カセットテープデッキAにカセットテープをセットします。

2 ラジオを受信する

P19「■ラジオを聴く」の手順に従い、録音したい放送局を選びます。

3 録音を開始する

⑦-①録音ボタンを押して、録音を開始します。

※録音前に必ずテープの残量をお確かめ下さい。

※⑦-①録音ボタンを押すと、⑦-②再生ボタンも一緒に下がります。

4 録音を終了する

⑦-⑥停止/取出しボタンを押して、録音を終了します。

※テープ片面が巻き終わると録音が終了され、⑦-①録音ボタン/⑦-②再生ボタンが自動的に上がります。

5 録音内容を確認する

⑦-③巻戻しボタンを押して、カセットテープの先頭まで巻き戻します。

巻き戻ったら⑦-②再生ボタンを押して正しく録音できているかを確認します。

ポイント

AMラジオ録音中にビート音(ピーと言う音)が出る場合は
⑤AMノイズ調整スイッチ右か左にヘスライドさせてください。
ノイズが改善される場合があります。

■外部機器の音声をカセットテープに録音する

1 前項「■CDをカセットテープに録音する」の手順に従い、②カセットテープデッキAにカセットテープをセットします。

2 外部機器を接続する

P21「■外部機器の音声を聴く」の手順に従い、外部機器を接続します。

3 録音を開始する

⑦-①録音ボタンを押して、録音を開始します。

※録音前に必ずテープの残量をお確かめ下さい。

※⑦-①録音ボタンを押すと、⑦-②再生ボタンも一緒に下がります。

4 外部機器を再生する

P21「■外部機器の音声を聴く」の手順に従い、外部機器を再生します。

5 録音を終了する

⑦-⑥停止/取出しボタンを押して、録音を終了します。

※テープ片面が巻き終わると録音が終了され、⑦-①録音ボタン/⑦-②再生ボタンが自動的に上がります。

6 録音内容を確認する

⑦-③巻戻しボタンを押して、カセットテープの先頭まで巻き戻します。

巻き戻ったら⑦-②再生ボタンを押して正しく録音できているかを確認します。

■カラオケの歌と伴奏をカセットテープに録音する

1 P25「■CDをカセットテープに録音する」の手順に従い、②カセットテープデッキAにカセットテープをセットします。

2 カラオケの準備をする

P22～「●マイクを使う」の手順に従い、カラオケの準備をします。

3 録音を開始する

⑦-①録音ボタンを押して、録音を開始します。

※録音前に必ずテープの残量をお確かめ下さい。

※⑦-①録音ボタンを押すと、⑦-②再生ボタンも一緒に下がります。

4 伴奏に合わせて歌う

再生したい機能を選択し、伴奏が流れてきたらマイクに向かい歌います。

5 録音を終了する

⑦-⑥停止/取出しボタンを押して、録音を終了します。

※テープ片面が巻き終わると録音が終了され、⑦-①録音ボタン/⑦-②再生ボタンが自動的に上がります。

6 録音内容を確認する

⑦-③巻戻しボタンを押して、カセットテープの先頭まで巻き戻します。

巻き戻ったら⑦-②再生ボタンを押して正しく録音できているかを確認します。

○お手入れについて

※**お手入れの前に必ずCDを取り出し、電源を切り、ACアダプタを抜き、乾電池を取り出して**ください。

■本体のお手入れ

やわらかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

※ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。

■CDプレーヤーのお手入れ

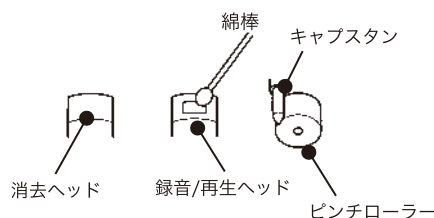
レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、再生ができなくなった場合は、市販のクリーニングディスクでクリーニングをしてください。

クリーニングの仕方はクリーニングディスクの説明書に従ってください。

■カセットデッキのお手入れ

ヘッドの汚れが原因で再生、録音の音質がよくない場合にクリーニングをしてください。

綿棒や柔らかい布にクリーニング液を軽く含ませ、右図に示されているテープが触れる面を軽く拭いてください。



○部品・付属品について

破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由で部品・付属品をお求めのお客様のために以下のものを販売しております。

●ACアダプタ ●マイク ●取扱説明書

お求めの際は下記までお問合せください。

【株式会社クマザキエム】TEL：045-473-0002

【直販サイト】ベアーマックス・ストア <http://www.bearmax.jp>

○故障かな?と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

製品共通	
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。 電源コードを本体にしっかり差し込んでください。 乾電池が正しく入っているか確認してください。 乾電池をすべて新しいものと交換してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量を調節してください。 スピーカーで聞くときは、ヘッドホンヘッドホン端子から抜いてください。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話などを本機から離して使用してください。
CD部	
CDを読み込まない 再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> CDドアが閉まっていることを確認してください。 乾電池が消耗していたら、新しいものと交換してください。 文字のある面を上にしてCDをセットしてください。 CDのクリーニングを行ってください。 レンズに水滴がついている場合→CDを取り出してCDドアを開けたまま1時間くらい置いてからご使用ください。
音がとぶ/ 雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> CDのクリーニングを行ってください。 CDに傷がある場合、CDを取り換えてください。 振動のない場所に置いてご使用ください。
ラジオ部	
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> 周波数を正しく合わせてください。 アンテナの向きを調節してください。(FM受信時) 本機の向きを調節してください。(AM受信時) 液晶テレビ、携帯電話等、電波を発生する機器を本機から離してください。 AMノイズ調整ボタンを左右にスライドさせてください。(AMラジオ録音時)

●故障かな?と思ったら

カセットテープ部	
テープが入らない	・テープの露出面を上に入れてください。
テープが回転しない	・テープをカセットデッキに正しく入れてください。
テープが機械に巻きつく	<ul style="list-style-type: none"> ・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを掃除してください。 ・テープの弛みを直してからご使用ください。 ・古いテープは絡まりやすくテープにダメージを与えますので、ご使用にならないでください。 ・片面30分以上のテープはご使用にならないでください。
早送り・巻戻しが遅い ／回転むらがある	・テープの回転具合を確認し、回転の重いテープは使用しないでください。
再生音が小さい 音が割れる 高音が出ない 雑音 音が震える 音が飛ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・市販のヘッドクリーナーでヘッドを掃除してください。 ・新しいテープと交換してください。
録音状態にならない	<ul style="list-style-type: none"> ・カセットデッキにテープが入っているか確認ください。 ・誤消去防止用ツメが折れている⇒ツメのついているテープと交換をするか、セロハンテープなどでツメの穴を塞いでください。 ・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。 ※無理に録音ボタンを押すと破損の恐れがあります。
前に録音されている音が完全に消えない	・TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム／ハイポジション、メタルテープは使用できません。

●主な仕様

本 体			
電源	ACアダプタ	AC100V 50/60Hz	
	乾電池	単一形 × 8個	
		動作可能時間（約）	3時間
消費電力		19W	
寸法（約）		幅：320 × 高：140 × 奥：190 mm	
質量（約）		2.3kg	
端子	入力	マイク × 2	Ø6.3mm TSフォン
		外部音声	Ø3.5mmステレオミニ
	出力	ACアダプタ	Ø5.5mmセンターピン
		ヘッドホン	Ø3.5mmステレオミニ
		外部音声	RCAピン
スピーカー		インピーダンス	4Ω
		実用最大出力	3W + 3W
		周波数特性	40Hz - 20kHz
		再生方式	ステレオ
ラジオアンテナ	AM	フェライトバーアンテナ（内蔵）	
	FM	ロッドアンテナ 長さ（最大）：510mm	
材質		ABS、銅、PVC、スチール	
機 能			
ラジオ	バンド	AM/FM（FMステレオ）※ワイドFM対応	
	選局	自動/手動	
	受信可能周波数	AM：522-1629kHz FM：76-108MHz	
	放送局登録数	AM：10 FM：20	
CDプレーヤー		対応ディスク	オーディオCD、CD-R/RW
		対応ファイル	CD-DA、MP3
		ビットレート	CD-DA：16bit 44kHz MP3：128-320kbps
		リピート再生	1曲/全曲
		ランダム再生	
		プログラム再生	オーディオCD：20曲 MP3ファイル：100曲
カセット・レコーダー/プレーヤー		再生速度調整	75~125%
		再生可能テープ	TYPE1（ノーマル）
		高速ダビング	約2倍速
		再生速度調整	90~110%

※CD-R、CD-RWに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。
 ※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。 ※本機で再生できないディスク コピーコントロールCD：本機では音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はいたしません。
 ※製品の仕様は性能向上等の理由から予告無く変更する場合がございます。